

第 13 回磁気共鳴(MR)専門技術者認定試験のご案内

NPO 法人 日本磁気共鳴専門技術者認定機構 (JMRTS)

第 13 回の磁気共鳴専門技術者認定試験の概要が決まりましたのでご案内いたします。

本機構では、「最新の医療技術に対応した最善の画像情報を標準的に提供し、安全を担保することで国民の福祉と社会の発展に寄与する」ことを目的に MRI 撮像技術の標準的なレベルアップを図るとともに、最先端技術をリードする技術者の育成と MRI 検査における医療安全を啓発するために専門技術者を認定しています。安全な MRI 検査を実施するうえで磁気共鳴専門技術者の役割はますます重要になっています。

今年の第 12 回の認定試験で磁気共鳴専門技術者は 926 人になり、上級磁気共鳴専門技術者は 82 人になりました。認定研究会も全国で 82 団体に達しています。是非とも多くの方々に専門技術者を取得していただき、患者様に安心して受けていただく MRI 検査の確立にご支援いただければと思います。

なお、この磁気共鳴(MR)専門技術者の認定は、MR 装置操作技術に関連する学術 7 団体 (日本磁気共鳴医学会、日本医学放射線学会、放射線専門医会・医会、日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、日本臨床衛生検査技師会、日本画像医療システム工業会) から構成される特定非営利活動法人 日本磁気共鳴専門技術者認定機構が行ないます。

記

試験期日：2018 年 (平成 30 年) 2 月 18 日

試験会場：首都大学東京荒川キャンパス講堂 〒116-8851 東京都荒川区東尾久 7-20-10

JR 日暮里・舎人ライナー「熊野前」 or 都電荒川線「熊野前」 駅下車徒歩 3 分

試験プログラム 9:50 ~ 10:50 筆記試験 (1) 基礎物理, 撮像技術, 応用技術, 読影技術 など

11:10 ~ 12:00 安全管理講習会 (1) 静磁場, 変動磁場, RF 波の人体への影響

13:00 ~ 13:50 安全管理講習会 (2) MR 装置の安全性とその対策

14:10 ~ 15:10 筆記試験 (2) 保守管理, 安全性, アーチファクト, 解剖 など

認定試験申請資格

- (1) 構成団体への在籍：申請時に構成 7 団体のいずれかに在籍して丸 2 年以上の経過を有する。
- (2) MR 装置操作経験：経験年数については不問
- (3) 学術成果：MRI に関する学術研究発表を 3 回以上、もしくは学術誌への論文 1 編以上を有する。

注意) 学術研究発表とは、JSRT の地方支部または JART の地域学術大会以上の学術大会を指す。

研究会や県・地方の技師会での発表は含まない。

論文：査読のある学術誌 (地方部会や研究会、商用雑誌に掲載されたものは含まない)。

※ JART の会員については、以下の A) B) 双方の項目を受講、取得していれば上記 (3) が免除される特例があります。JART の会員であっても (3) の資格で申請していただいても構いません。

A) 生涯教育の診療放射線技師基礎講習 医療基礎コースの 3 科目を受講している方、もしくはアドバンス診療放射線技師以上を取得している方。

B) 基礎技術講習の「MRI 検査」を受講している方、もしくは旧 MRI 検査技能検定を取得している方。

1	医療安全	基礎講習 医療基礎コース	認定証の写し
2	救急医療学	基礎講習 医療基礎コース	
3	医療社会倫理学	基礎講習 医療基礎コース 旧) 医療学	
4	MRI 検査	基礎技術講習 旧) MRI 検査技能検定	認定証の写し or 合格証の写し
5	技師格	アドバンス診療放射線技師 以上	カードの写し

注) 上記の講習および技能検定は一度受講、取得すれば永年有効です。

※ ご自分の取得資格は JART の web サイトでご確認ください。

※ 本件に関する質問は JART 事務所へお問合せください。機構の事務所では取扱いません。

- (4) 装置の精度管理：機構が提示した装置の精度管理に関する性能評価ならびに指定の科目の測定結果を提出する。(提出項目は、<http://JMRTS.umin.ne.jp> で確認して下さい)
- (5) 施設の安全管理：被検者ならびにスタッフのための施設が備えている安全管理マニュアルを提出する(これを機に施設の安全管理マニュアルを作成していただければ結構です)
- (6) 安全管理講習会の受講：試験当日に開催します安全管理講習会を受講してください。
- (7) 一度受験資格を得られた方は、上記 (3) (4) (5) を免除します。

申請方法

- (1) 認定試験受験申請を web (<https://www.jsrt.or.jp/form/jmrts-shinsei/>) から登録してください。
- (2) web 申請用紙をプリントアウトして、最下段にサインをして書類に同封してください。
- (3) 初回申請者は申請用紙の初回受験用提出書類 1～5 に記載のもの、再申請者は再受験用提出書類 1～3 に記載のものを同封してください。返信用封筒は送付書類が返送できるサイズに適宜変更してください。
- (4) 安全管理マニュアルは、MRI 検査に関する事項だけで結構です。適切なボリュームを送付ください。
- (5) 性能評価試験結果は特に枚数制限はありません。

費用 [初回または過去の申請で書類審査が不受理だった方] 書類審査料：3,000 円

[再受験申請の方] 安全管理講習会受講料および認定試験受験料：7,000 円

振込先：普通郵便口座番号 00930-0-251624, 口座名称：日本磁気共鳴専門技術者認定機構

申請申込先：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局 MR 専門技術者認定試験係宛

〒600-8107 京都市下京区五条新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3 階

申請受付期間：2017年11月1日(水)～12月8日(金) 必着

認定試験受験資格の通知：申請資格の書類審査結果を 2018 年 1 月中旬にお知らせします。

申請書類に不備があった場合には、認定試験を受けていただくことができません。

認定試験の通知：資格審査合格者(再受験の方は免除)に、認定試験の受験案内をします。

初回の方は、安全管理講習会受講料および認定試験受験料：7000 円が必要です。

第 13 回磁気共鳴 (MR) 専門技術者認定者通知：2018 年 3 月 20 日予定

磁気共鳴 (MR) 専門技術者認定料 (登録料)：10,000 円が必要です。

問合せ先：土井 司 (高清会 高井病院) E-mail：doi@takai-hp.com

更新のための安全管理講習会のお知らせ

第 13 回の日本磁気共鳴専門技術者認定試験に併せて開催します。安全管理講習会には下記の方に受講資格があります。なお、更新の申請については別に案内します。

第 3 回・第 8 回試験合格者で 2018 年 3 月に更新を迎える方は、この講習会が最終になります。

プログラム 11:10 ～ 12:00 (1) 静磁場, 変動磁場, RF 波の人体への影響

13:00 ～ 13:50 (2) MR 装置の安全性とその対策

14:00 ～ 14:30 (3) MRI 検査に関する事故の実態と最新情報

14:30 ～ 15:10 (4) MRI 対応植込み型デバイスへの対応方法

※ **受講資格** 第 3 回～第 5 回, 第 8 回～第 10 回の認定試験で認定された方

※ e-learning による受講修了書を送付いただければ、安全管理講習会の受講に代えることができます。

※ 下記の MRI 安全管理講習会も更新講習会に含まれます (申込み詳細は別途案内を参照)。

2017 年 12 月 3 日 (日)：首都大学東京 荒川キャンパス講堂

更新の案内

第 3 回の試験で認定された LSMR 0075～0124 の方は 2 回目の、第 8 回の試験で認定された LSMR0408～0461 の方は初回の更新を 2018 年 3 月末で迎えます。

2018 年 1 月 24 日 (木) ～ 2 月 10 日 (土) の間に更新手続きを行なってください。